

# くれよん



2018年1月

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、お正月は皆様いかがお過ごしでしょうか。初詣に行かれた方も多いでしょう。以前聞いた話では賽銭をした後の願い事は「～になりますように」ではなく「～します！」という断定的にお願いするほうが良いそうです。確かに「～になりますように」は自分で叶える意識が薄い印象を持ちますものね(\*\_\*)。

今年が戌年です。戌年の人の特徴としては正義感が強く一途でまじめ・忠誠心が強い…だそうです。今年生まれる子どもたち、12歳・24歳・36歳…の方に当てはまっていますか(^\_^)。皆様にとって素敵な1年になりますように。



## お楽しみ会 報告

12月3日(日)にりふれ研修室にて虹の会お楽しみ会が行われました。今年もボウリングや魚釣り、サッカーゲームなどのゲームコーナーに加え、焼きそばやパンケーキなどの食べ物コーナー、最後にビンゴ大会を行いました。

総勢65名の方に参加いただき、盛況のうちに終わることが出来ました。来年も開催いたしますので、楽しみにしててください(^\_^)。

### 1月の予定

#### ◆プール指導

11日、18日、25日 16:00~17:00

19日 虹の会 懇親会

※インフルエンザ等の感染症にかかった、家族にその疑いがある場合、感染拡大を防ぐため通常指導・プール指導をお控えくださるよう、お願い申し上げます。また、学級閉鎖・臨時休校が発生した場合も同様とします。お手数おかけしますが、上記のような場合はご連絡くださいませ。

# 伸び悩んだ子には、 一段やさしい課題を与え助走を付けさせる

最近の子どもについて、知り合いの幼稚園の先生は「詰めが甘い」という評価を下していました。おかしな表現ですが、つまりは何事も最後までやり抜くことができないからだ、と思います。例えば、昼食のときでも、一応は食べてはみるのですが、必ず人参一切れ、ご飯少々、デザートのみかん半分、というふうに残してしまうといいます。勉強や習い事などでもピアノの練習をしている子どもを見ていると、はじめこそ勢いよくキーに向かっていますが、いつの間にか、両手をキーの上においたまま、ぼんやりしていたりするので

自力でやり抜く習慣に欠けている子どもが多いのです。こういう飽きっぽい子に「がんばりなさい」「ちゃんと終わりまでしなくちゃダメじゃない」と叱咤激励してもさっぱり効果は上がらないのも道理です。親のほうが目も眩れてやめてしまえば、子どもは中途半端に慣れて、結局は「ウチの子はダメなのかしら」と諦めることになりかねません。

そこで...



この悪循環を断ち切るには、**目標を分割する**という方法があります。一挙に最終目標を達成する代わりに、**目標をいくつかに分けて、まずいちばん達成しやすい目標を設定する**のです。それを達成したら、つぎの目標に向かわせ、階段を一段ずつ登るように、ゆっくりと、しかし確実に最終目標に近付いていくようにします。

勉強をさせるときは、ただ「勉強しなさい」を繰り返すのではなく、「**三十分だけしっかりやってみなさい**」と、小さな目標を示すわけです。努力すれば達成できそうな目標があれば、子供は「がんばる」気力を持つことができます。そして、達成したときの喜びや満足感が次の目標への精神的ドライブ（駆動力）を生み出します。



最初からあまりに高い目標を与えて、失敗のショックを与えるのではなく、**適度にむずかしい「小目標」の積み重ねで自信を植え付けていく**ほうが、「長続きする子」に育てることができるのです。